



東北地方太平洋沖地震について

上尾市国際交流協会会長 清水義憲

3月11日、東北地方太平洋沖地震が発生いたしました。この国内観測史上最大の規模の地震により、多くの方の尊い命が失われたことに、深い哀悼の意を捧げます。また、被害を受けられた地域の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

微力ではありますが、私たちも「今、自分たちに出来ること」を考えながら、一刻も早い復旧・復興へ協力して参りたいと存じます。

木曜日本語教室 リニューアル！

4月から基礎日本語クラスとして、木曜の午前コースと夜間コースにわけてひらくことになりました。それぞれ4月開講（前期）と10月開講（後期）があります。1時間半の授業を約20回、基礎的な日本語を数人のクラスで勉強します。「話す・聞く・読む・書く」のすべてを勉強し、日本で生活する上で最低必要な日本語のマスターを目指します。基礎クラスを修了した後は、火曜と水曜のボランティアクラスで勉強してもらいます。午前クラスにはAGA保育グループ「オリーブ」による保育も予定しています。

☆新年度のAGA日本語教室について（お知らせ）

4月からの日本語教室は、3月11日に発生した地震の影響により開催を変更いたします。

- 火曜教室 4月12日（火）午前10時から開きます。12日は開講式と災害に関するお話です。
- 水曜教室 公民館が4月30日まで夜間閉館するため中止します。5月以降については現在未定です。
- 木曜基礎日本語クラス
 - 午前コース 4月7日（木）午前10時から開きます。7日は開講式と災害に関するお話です。
 - 夜間コース 会場となっているコミュニティーセンターが4月30日まで夜間閉館するため中止します。5月以降については現在不明です。

※火曜教室および木曜午前コースは当日が停電であっても実施します。

AGA ニュースピックアップ

● 小さい子どもを連れた外国人お母さんの会

毎月第3火曜日10～12時、上尾コミュニティーセンターの子ども室に集まっています。ふだんは子どもを保育グループ『オリーブ』に預けて2階の視聴覚室で日本語を勉強している外国人お母さんたちも、この日は、子どもと一緒に遊びます。子連れお母さんでもある日本人スタッフと子育てや日本の生活について日本語でおしゃべりもします。幼稚園に行く前の0歳から4歳までの小さい子どもたちは、部屋中かけまわったり、おきにいりの大きな遊具で遊んだり…。今年度は日本人お母さんと交流しつつ、外国人お母さんが日本で安心して子育てできるような活動に焦点をあてていきたいと思っています。お母さんの会では、外国人お母さんと一緒に活動して下さる日本人スタッフを大募集中です。

● 4月のお母さんの会

地震のこと、停電のこと、食べ物のことなど、心配なことがたくさんありますね。お母さんの会で話し合ひましょう。

日時：4月19日(火)10:00～11:30

場所：上尾市コミュニティーセンター こども室

参加費：100円

持ち物：飲み物

● AGA サロン

AGA サロンがリニューアル オープンします！3月の地震は本当にこわかったですね。上尾に住んでいる外国人の人たちはそのとき、どうでしたか？そのあとも、正しい情報をつかむことができますか？日本人も外国人もみんなで集まって、その後の暮らしについておしゃべりしましょう！

日時：4月17日(日)14:00～16:00

場所：上尾公民館503

参加費：無料

● ブラジル料理教室をやりました。

今回の料理教室は2月20日ブラジル出身の大高よしみさんを迎え、男性二人を含む10人で実施されました。メインは魚と牛乳・小麦粉など（その他省略）をミキサーでかきまぜて焼く「魚のタルト」でした。ブラジルでは朝食やおやつまたはパンの代わりとしてよく作られているそうです。もう一品は「ブラジル式プリン」で、大変おいしく特にタルトはレシピからはとても想像できないあっさりとした味で、とてもおやつらしく、みんなで楽しくいただきました。



●埼玉県多文化共生キーパーソン

平成22年度、上尾市国際交流協会（AGA）から3人が埼玉県多文化共生キーパーソンとして委嘱されました。

多文化共生キーパーソンは何をするの？

「外国人住民と行政との間に立って橋渡しをする。

外国人住民に対する行政情報などの伝達や

外国人住民のニーズの把握を行い、地域の

多文化共生を推進する」（キーパーソン便利帳から）

AGAでは日本語教室が週3回開かれていますし、AGAサロンやパーティー、あげおワールドフェアなど、外国の方々の貴重な意見を聞く機会が多くあり

ます。こうしたAGAの活動の中で得た外国の方々の

意見や要望を行政に伝えたり、県や市町村からの

情報をいち早く外国の方に伝えていきたいと思

います。3月の大地震のような災害の時にいかに有効

な情報を外国の方に伝えることができるか。

多文化共生キーパーソンの活動を見直していきたいとおもいます。

●在住外国籍市民のための就職支援講座

2月27日（日）上尾公民館にて外国人のための

勉強会として、就職支援講座を開きました。外国人

が日本で就職する際に、在留資格によっては仕事

が禁じられている事をまず説明しました。日本で

仕事を探すのには、いろいろな方法があります。今回

そのうちのいくつかを紹介し、ハローワークでの

パソコンによる仕事探しの方法の説明や、電話での

問い合わせかたを練習しました。また外国人にとつ

て苦手の履歴書の書き方についても説明しました。

参加者の方たちで、就職の経験などを語り合いました。

☆日本語スピーチタイム！

去る10月に行われたスピーチを紹介し

今回は第3弾として3人紹介し

日本に来てうれしいこと

前田 ジェニリン ローズ（フィリピン）

日本に来てから四年半になりました。日本に来てうれしいことやおどろいたことがいっぱいあります。日本人がいろいろなやくそくをまもったり、とってもマナーがいいのでおどろきました。たとえば、一つ目は、物をおきわすれたときに、けいさつに届け出てくれることです。

二つ目は、ちゃんと時間のやくそくをまもることです。たとえば、まちあわせの時間におくれないでやくそくの時間よりはやくつくことです。三つ目は、人も車もしんごうをちゃんとまもることです。フィリピンでも日本と同じようにしんごうをまもれば道もこまないし、じこもすくなくなるのになーとお

もいました。そして、日本には自動はんばいきがたくさんあるのでとってもべんりです。じぶんの子供はまだ二歳半なんですが、おかねをわたすとってもよろこんではんばいきにいで、私がだっことして、好きなボタンをおします。ざんねんですが、もしフィリピンに自動はんばいきがあったら、ぬすまれて一日でぜんぶなくなってしまうとおもいます。今まではうれしいことをおはなししましたが、でもさいきんの日本ではいやなことがときどきあります。

たとえば、自分の子供なのにひどいぎゃくたいしたり、ころしてしまうことです。自分のおなかの中で十ヶ月そだてた子供なのに、ころすなんて本当にしんじられないです。こういうことが少しでもすくなくなるとおもういます。

私は日本でけっこうしてから主人のかぞくがいつもみまもってくれます。わからないことがあったときはちゃんとおしえてくれます。たとえば、日本りょうりのつくりかたをおしえてくれます。今の私は主人と二人の子供といっしょでとっても幸せです。

箱根の秋景

覃 晓雲 (中国)

先日、友人から「箱根のすすきは今見ごろだよ」という話を聞きました。その話に心が動き、9月下旬の三連休を機に、久しぶりに旅に出ました。すすき草原は仙石原の中央に聳え立つ台ヶ岳の北西麓に位置します。すすきは季節の変化に応じ、色が変わり、箱根の四季を美しく表現します。そのため、箱根の代表的な風景として「神奈川景勝50選」に選ばれ、世に広く知られています。特に、秋の一番の見ごろは9月下旬から10月中旬までの短い間だけです。そして、この時期ならではのすすきのコントラストが観られるので、とても人気があるそうです。日曜日の肌寒い朝、久しぶりに5時に起きて、寝ぼけ顔をして、6時発の電車に乗り、2時間半ぐらいで、箱根湯本駅に着きました。そこからさらに箱根登山バスに乗り換え、約35分でようやく9時10分に仙石原駅

に到着しました。登山バスを降り、5分ほど歩くと、道路の右側に台ヶ岳の北斜面を埋め尽くすようなすすきが視野に入ります。近づくと、草原のずっと奥までつながる一本の畦道のような細道が見えます。

小道に入って、登りながら、周りのすすきをゆくりと楽しみます。すすきの銀色の穂と緑の葉が

対照的で、美しい景色と眺めます。穂はすでに銀色になり、秋を表現しています。一方で、葉はまだ緑のまま、まるで夏の名残りを引っ張ろうとしています。この絶妙な色の組み合わせは生き生きとした

9月の箱根の風情を表現していると感じます。小道を登っている途中、可愛いトンボの群れも目に映り、まるで私たちを迎えるように感じます。トンボ

は観光客の訪れに怯えず、銀色の穂にとまったり、緑の葉の間を飛び回ったりして、まるで晩夏と

初秋の合唱のように美しい姿を披露してくれます。草原の上端に到達すると、すすき草原の全体が

一望できます。下を見下ろすと、すすきは秋空の下で風が吹かれ、うねりゆく波立った絨毯のような不思議

な光景が目に入りました。夕方、帰りの電車で今日撮った写真を見て、楽しみながら、思わず満足感が

心に浮かんで来て、来年、また箱根の秋景色を味わいたいと思いました。

たてやまくろべ たび 立山黒部への旅

沈 育棋（台湾）

台湾では日本のテレビ番組がたくさん放送されています。ある日、立山黒部の特集があり、母と一緒にその番組を見ました。母はそれを見て、立山黒部のきれいな景色にひかれ、いつか立山黒部に行こうと私に言いました。去年の夏休みに、母が日本に遊びに来ることになったので、私は旅行のプランを練り、九月下旬に立山黒部の旅を計画しました。新宿から夜行バスを利用し、翌朝富山駅に着きました。立山黒部では六つの乗り物を利用します。まず、立山駅と美女平駅の間は、ケーブルカーを利用します。標高差およそ500mを7分かけて一気にのぼり、突然、寒くなったと感じました。それから、休まずに、美女平から室堂へ行くために、立山高原バスに乗りました。車内から見る大自然はとてもすばらしかったです。途中、弥陀ヶ原に降り、つらなる山々をながめながら、のんびり散歩しました。私たちの目の前には、雲海が広がっていました。空は真っ青で、雲海は真っ白で、山は赤や緑やきいろにいろどられ、とてもきれいでした。こういうきれいな景色を見て、心が癒されました。

それから、次の便を利用し、室堂に行きました。

室堂にはわきみずがあります。立山トンネルが開通

したため、標高2450mの室堂に湧き出した水です。

私は行く前にその情報を知り、空のペットボトル

を2本持っていきました。次に、室堂から大観峰へ行きました。ここへ行くには、トロリーバスでしか行きません。このトロリーバスは日本で一番高いところを走っています。トロリーバスはパンタグラフから電力を取り入れる電車です。電気で動くため、排気ガスがなく、環境にやさしいです。日本にはトロリーバスは立山黒部にしかないそうです。その後、大観峰から黒部平に行き、ロープウェイに乗りました。360度のパノラマで立山れんぼうの景色を楽しむことができました。それから、ケーブルカーで黒部ダムに行きました。黒部ダムでは、みずけむりをあげながら、ものすごい勢いで水が放出されていました。私たちはその迫力に感動し、言葉を失いました。最後には、また、トロリーバスを利用し、旅館に行きました。

その日いちにち、立山黒部で今までに乗ったことのない、さまざまな乗り物に乗ったり、すばらしい景色を見ることができて、とても楽しかったです。そして、きれいな写真もたくさん撮れました。母にとっても、いい思い出になったと思います。今度は、また、違う旅をしたいです。

編集後記

大地震、津波、原発事故…。その後も問題がたくさん起こっています。海外からも温かい励ましの声が届いています。

私たちに出来ることは何か？一緒に考え、行動していきましょう。

AGA Calender

2011 年4月

日	月	火	水	木	金	土
				31	1	2
				●正副会長会議 10:30～ 事務局		
3	4	5	6	7	8	9
				○基礎日本語教室 ◆10:00～11:45 文化センター204	●理事会 18:30～ 市役所 502 会議室	
10	11	12	13	14	15	16
		○日本語教室 10:00～11:30 コミュニティセンター 2F		○基礎日本語教室 ◆10:00～11:45 文化センター204		
17	18	19	20	21	22	23
★AGAサロン 14:00～16:00 上尾公民館 503		○にほんご教室 10:00～11:30 コミュニティセンター 2F ☆お母さんの会 10:00～ コミュニティセンター		○基礎日本語教室 ◆10:00～11:45 文化センター204	●臨時理事会 18:30～ 市役所 502 会議室	
24	25	26	27	28	29	30
		○にほんご教室 10:00～11:30 コミュニティセンター 2F		○基礎日本語教室 ◆10:00～11:45 文化センター204		

発行責任者：清水 義憲

編集：AGA事務局

発行：上尾市国際交流協会

〒362-8501 上尾市本町 3-1-1 上尾市役所別館 1 F

TEL: 780-2468 (直通), 775-5111 (内 816) / Fax: 775-9819

E-Mail: office@aga-world.com HP: http://www.aga-world.com

Twitter: http://twilog.org/Ageo_Global_Aso

※ A G A 事務局は、市役所第 3 別館 1 階（市役所本庁舎向かい側のビル）

スタッフの出勤は、月・木・金の 10:00～16:00 です。